

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「新委員長とともに」

全日教連には、毎月、各単位団体からの教育新聞が届く。その中に各校の働き方改革の取組を行ったアンケート結果が掲載されていた。

例えば、家庭訪問の廃止、一学期の通知表の所見の廃止、文化祭・学芸会・学習発表会の簡素化や廃止、掲示作品への教師のコメント廃止、保護者による宿題の〇付け、出張命令簿の口頭化、週案の簡素化(感想なし。隔週提出)、夏休み明けの作品整理・出品処理はボランティアに依頼、職員会議のペーパーレス化、一学期中間テストの廃止(中学校)等があった。

今出てきた中に先生方の学校においても取り組まれている内容があると思われるが、いかがだろうか。

現在、文部科学省は、一年単位の変形労働時間制の導入に向けた環境整備を行っており、完全学校週五日制にともない、平成十四年に発出された「夏季休業期間等における公立学校の教育職員の勤務管理について(通知)」において通達した超過勤務による休日のまとめ取りの廃止を撤回した。(令和元年六月)

香川県、各市町においても業務改善に向け、現在取り組んでいる内容がある。香教連として状況を注視しつつより実行性のある施策が推進されるように提言していく必要があると考える。また、香小研・香中研等の自主的に行っている活動についても、教員の年齢層の偏りが大きくなり、学校数の減少とともに教員数が減っている一部の地域では負担が大きくなっている。持続可能な研究会の在り方も考える必要がある。

今年度の香教連は、業務改善について何を指して取り組んでいくのか明確な目標を示しながら香教連の存在価値を北村新委員長とともに香川県下に示していきたい。令和の時代の香川の教育を一步前へ進めるために、香教連は、全力で行動していく決意である。

教職員の働き方改革へ向けて 国の関係諸機関へ要望

六月十日(月)に文部科学省、総務省、厚生労働省に対して要望活動を行った。香教連からは、北村顕吾委員長が出席した。



丸山洋司文部科学省大臣官房審議官(七月九日付で、初等中等教育局長)に対し、教職員定数の改善、実証段階にあるスクールロイヤーの予算の減額の趣旨や教員免許更新制について、働き方改革の視点から免許状有効期間における研修を免許更新講座の代替とすること等について要望し、回答を得た。

総務省には、地方交付税交付金として一般財源化している義務教育に係る費用を全額国庫負担にすることや「スクールスマート・プラットフォーム」に係る標準仕様を示すこと等を要望した。



厚生労働省には、児童相談所の職員体制の改善や専門性の教化、及び社会的養育環境の充実や「新・放課後子ども総合プラン」推進について文科省と連携し人材確保や環境整備の構築等について要望した。

全日教連行事の御案内

令和元年度 次期リーダー研修会

○日程 八月十九日(月)～二十日(火)
*十九日(月)当日出発予定
○会場 東京・都市センターホテル
衆議院議員・義家弘介氏講演
国会議事堂参観、自民党本部訪問他

*なお、参加希望多数の場合は、調整させていただきますので、御了承下さい。御理解をよろしくお願ひします。
〇八七七八三五―二七二一 まで

一次試験合格をめざし、講師部研修会開催!

六月二十二日(土)九時三十分より、香川県教育会館において、講師に香川大学教育学部准教授・佐藤盛子氏をお迎えし、第三回講師部研修会を行った。

まず初めに佐藤先生より集団討論についての講義を行っていただいた。挨拶の仕方や集団面接の際のポイント等について話していただいた。その後、実習として「集団面接演習」を行った。佐藤先生はじめ現役の先生方にも御協力いただき、各会場に分かれて、校種別五八人で集団面接を行った。



実習では出題されたテーマについて自分の意見をまとめ、本番さながらの緊張した面持ちで取り組む参加者の姿が見られた。ぜひ合格していただきたい。

中堅教員研修会開催中

毎年、御好評をいただいている香川県教育文化研究所主催「中堅教員研修会」。第一回が六月二十二日(土)第二回賀七月十三日(土)に行われた。第二回以降、左記の日程で開催する。

○日程 第三回 七月二十七日(土)
第四回 八月二十四日(土)
第五回 十月二十六日(土)

○会場 香川県教育会館 第三会議室
○開催時刻 十八時～二十時

申し込み、お問い合わせは香川県教育文化研究所
〇八七七八三七―八四八〇 まで

